

令和4年 8月19日

資料提供先：島根県政記者会

インフラDX講演会を開催

～WEB開催を基本とした県内発注機関等向けの講演会です～

本講演会は、公共工事や公物管理にICTを活用することの意義を再確認しつつ、それによって業務の効率化・クオリティの向上をもたらした事例を学ぶことにより、既存の価値観や枠組みを根底から覆すような変革を伴うという、デジタルトランスフォーメーション（DX）の本質を理解し、公共土木に関する業務に当たる職員がi-ConstructionやインフラDXに、どのように取り組んだら良いのかを考えるきっかけとするべく開催します。

日 時：令和4年8月23日（火）13：00～17：10

場 所：松江国道事務所 3階大会議室

内容等：別添チラシ参照

※講演会はWeb開催ですが、松江国道事務所では報道関係者を対象に公開します。（傍聴、取材可）

なお、誠に恐縮ですが、カメラ撮影については冒頭から主催者挨拶までとさせていただきます。

※取材を希望の方は、別紙-1の取材申し込みFAX票にて、事前にお申し込みください。

また、当日は講演会開始5分前までに会場にお越しください。

※新型コロナウイルスの感染予防及び拡大防止のため、以下の点についてご協力をお願いします。

- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・当日、体調不良（37.0度以上の発熱、咳等の風邪の症状）の方は、取材をお控えください。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

副 所 長（改築）

安部 学（内線204）

（広報担当）計画課長

岡田 直人（内線261）

TEL：（0852）60-1345（直通）

：（0852）26-0611（夜間・休日）

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

※松江国道事務所では、twitter（ツイッター）による情報発信を行っています。

ツイッター：http://twitter.com/road_matsue

※道路の異状を発見したら、道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ

二次元バーコード



県内発注機関等向け インフラDX講演会

2022 8/23 (火) 13:00~17:10

主催：国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

本講演の狙い

公共工事や公物管理に ICT を活用することの意義を再確認しつつ、それによって業務の効率化・クオリティーの向上をもたらした事例を学ぶことなどにより、既存の価値感や枠組みを根底から覆すような変革を伴うというデジタルトランスフォーメーションの本質を理解し、もって、公共土木に関する業務に当たる職員が i-Construction やインフラ DX にどのように取り組んだら良いのかを考えるきっかけとするべく、本講習会を企画しました。

プログラム

13:00 開会（主催者挨拶）

13:05 「ICT 活用の意義とメリット」

yasstyle 代表 松尾 泰晴 氏

13:45

国土交通省の入札参加資格ももたない地場の中小企業が i-Construction が始まる以前から i-Construction 型の施工を行ってきたのはなぜか？インフラ DX が叫ばれる今の時代にあるべき建設業の姿について語ります。

13:50

「DX の本質は ICT 活用ではなく思想にある」

正治組 大矢 洋平 氏

14:30

国土交通省が i-Construction を提唱する 15 年も前から 3 次元データの活用を進めてきた講師が、その当時はまだ珍しい ICT にどのようなメリットを見いだして活用したのか、特に現場作業員に段取りを理解させる手間や時間が劇的に縮減するなどの具体的な事例の紹介を交えて解説しつつ、インフラに携わる我々が自らを今後どうアップデートすべきかについてともに考えるセッションを展開します。

14:35

「静岡県が目指す「VIRTUALSHIZUOKA 構想」とは？」

静岡県 杉本 直也 氏

15:15

点群データで創る仮想県土プラットフォームである「VIRTUALSHIZUOKA」。これを新たなインフラと位置づけてデータの収集や蓄積、さらにはオープンデータ化を進める静岡県が、点群データの活用により何を目標しているのかについて、昨年熱海市で発生した土石流災害への対応事例などに触れつつ紹介します。

15:20

「繋がりをづくり、生かす「面白がり力」

フィラメント CEO 角 勝 氏 ※オンライン登壇

16:00

大阪市役所職員を 20 年勤めたのち、新規事業創出の支援企業を興した異色の経歴を持つ講師が、変動する社会にルールメイカーである公務員として迅速に対応することへの期待と、DX をより本質的なものとするためにルールや組織といった枠を突破することの重要性について語ります。あわせて、普通の地方公務員を起業家に変えた独自のマインドセットである「面白がり力」について、自身の公務員時代の経験とともに伝えます。

16:10

車座トークセッション

17:10

講師 4 名それぞれと少人数でよりディープなコミュニケーションを図れる場を準備しました。講演で触れた話題や新技術について、より深い内容やオフレコの話が聞けたりするかも知れません！講習会の申込時に、どの講師との車座トークに参加したいかについて第 4 希望までお示し下さい。（事務局で振り分けしますので、希望通りにならない場合があります。）

講師プロフィール



まつお やすはる
松尾 泰晴氏 yasstyle 代表

株式会社山口土木在職中の2015年、国土交通省がi-Constructionを提唱する前からドローン測量やICT建機を自主的に導入し、粗利や働き方の面で圧倒的な成果を上げる。中部地方整備局等のICTアドバイザーとして実践的なICT活用方法についてのレクチャーを全国各地で実施。2021年にICT導入コンサルタントを行う会社yasstyleを立ち上げ独立。



おおや ようへい
大矢 洋平氏 正治組

株式会社正治組土木部部長。中部地方整備局等のICTアドバイザーとして実践的なICT活用方法についてのレクチャーを全国各地で実施。松尾氏とともにYDN(やんちゃな土木ネットワーク)という新しい土木技術を学ぶための全国的なネットワークを組織して、技術力の向上、知見のシェアに取り組んできた(現在、YDNは解散)。また、関与した工事について国土交通省の平成30年度i-Construction大賞(優秀賞)を受賞するなど、i-Construction関連の多くの受賞歴を持つ。



すぎもと なおや
杉本 直也氏 静岡県

静岡県職員。VIRTUALSHIZUOKAの取り組みなどi-Constructionよりも常に一歩先を進む静岡県のインフラDX施策の牽引役。行政データのオープン化やGISに明るく、測量関係の多くの委員会の専門委員等も務めている。



すみ まさる
角 勝氏 フィラメント CEO

新規事業創出支援企業として名を馳せる株式会社フィラメントCEO。大阪市役所時代に職員として携わったオープンイノベーションによる新規事業創発支援を極めるべく独立し、現在はコンサルタント業を興して新規事業創発支援に取り組む。

講演会 概要

- 主催 国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
- 日時 令和4年8月23日 13時開会
- 場所 松江国道事務所3階大会議室 (松江市西津田2-6-28)
※WEB開催を基本と致します。
- 問合せ先 松江国道事務所 計画課 0852-60-1345
- 申込方法 **締切：令和4年8月17日(水) 必着**

講演会会場位置図



参加を希望される方は、以下の①か②の方法で申込をお願いします。

①参加申込書を記入の上、メールで「インフラDX講演会 担当宛」にご提出ください。

【参加申込書送付先】

パシフィックコンサルタンツ株式会社
インフラDX講演会 担当(受託事業者)
Mail: matsueDX0823@tk.pacific.co.jp

②以下のURLもしくは二次元コードからも申込が可能です。

<https://questant.jp/q/VJ0599HA>



なお、申込の受付業務は、受託事業者であるパシフィックコンサルタンツ株式会社が実施します。

※定員はございませんが、締切日をもって受付を終了します。

※参加者の方には、別途開催案内をさせていただきます。

■ 注意事項

新型コロナウイルスの流行状況によっては、開催を中止もしくはプログラムを変更させていただく可能性がございます。開催の状況については、参加申込をいただいた方には個別にメールでご連絡を差し上げます。

インフラ DX 講演会
取材申し込み F A X 票

- 取材を希望される方は、以下の送付先に F A X を送信ください。
- F A X 送付先：中国地方整備局 松江国道事務所 計画課
FAX 番号 0852-22-9731
- 申 込 締 切 日：令和4年8月22日（月）17:00

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、下記の点について
ご留意ください。

1. 人と人との距離の確保（約2m）
2. マスクの着用
3. 会議室入室前の手指消毒の実施
4. 発熱等、風邪の症状が見られる場合などは、来場をご遠慮ください
5. 取材及び傍聴の方の身分証明のお願い
6. 会場の都合により、入場の制限をさせて頂く場合がございます

上記1～6について了承の上、申し込みます。

報 道 機 関 名： _____

氏名①（ふりがな）： _____

氏名②（ふりがな）： _____

氏名③（ふりがな）： _____

連絡先（電話番号）： _____

※1つの報道機関で、複数名取材を申し込まれる方は、全ての方のご氏名を記載ください。